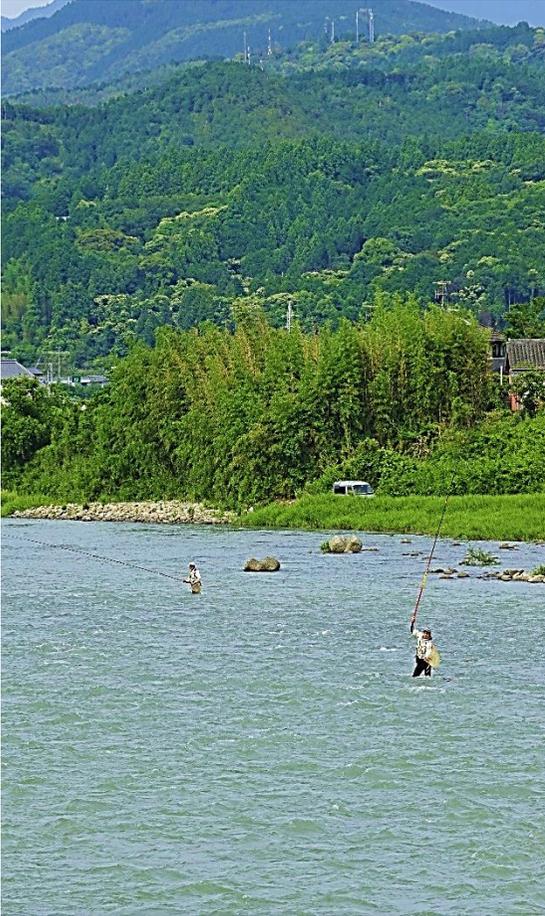


# 7 自然災害から人々を守る<sup>まも</sup>

## (1) 水害<sup>すいがい</sup>



奈半利町の西部<sup>せいぶ</sup>には、奈半利川<sup>なが</sup>が流れています。馬路村<sup>うまじむら</sup>から流れるこの川は、長さ<sup>なが</sup>約60kmもあり、ゆたかな水量<sup>すいりょう</sup>で、太平洋<sup>たいへいよう</sup>に注いでいます。<sup>そそ</sup>

川の上流<sup>じょうりゅう</sup>では雨の量<sup>りょう</sup>も多く、まわりをかこむ山々とともに、わたしたちに自然<sup>しぜん</sup>の恵み<sup>めぐ</sup>を<sup>あた</sup>えてくれています。また、きれいな奈半利川には生き物<sup>もの</sup>も多くすみ、つりをしたり、川遊び<sup>あそ</sup>を楽しむことができます。

しかし、一方では水害<sup>すいがい</sup>のおそれもおそろえてはいけません。中芸<sup>ちゅうげい</sup>地区<sup>ちく</sup>は海岸<sup>かいがん</sup>の近くまで山がせまっているところが多く、そのため上流<sup>じょうりゅう</sup>から下流<sup>かりゅう</sup>までのかたむきが急<sup>きゆう</sup>です。台風<sup>たいふう</sup>や集中豪雨<sup>しゅうちゅうこうう</sup>などのように、短い時間<sup>みじか</sup>でもはげしく雨がふったときや、何日も雨がふり続く<sup>つづ</sup>ときには、川の水かさ<sup>ま</sup>が増<sup>ま</sup>し、洪水<sup>こうずい</sup>が起こりやすくなります。川ぞい<sup>ひがい</sup>の町や村に被害<sup>ひがい</sup>がでることもあります。



はんらんした奈半利川のようす

2011年（平成23年）7月19日、台風6号が土佐湾沖を通過してきました。奈半利町やそのまわりの町や村でも、はげしい雨が集中的にふりました。奈半利川には、にごった水がたくさん流れこみ、上流の北川村では堤防がこわれて、田畑に水がおしよせる被害も出ました。

警戒レベルと防災気象情報（奈半利町）

奈半利川とともに生きていくためには、台風や集中豪雨などによる水害にも、そなえておくことが大切です。

警戒レベルと防災気象情報			気象庁などの情報						
気象状況	警戒レベル	住民が取るべき行動	町の対応	大雨特別警報	土砂災害警戒情報	大雨警報 洪水警報	警戒	注意	早期注意情報
数十年に一度の大雨	5	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況にいまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※ 必ず発令される情報ではない	大雨特別警報	土砂災害警戒情報	大雨警報 洪水警報	危険	注意	早期注意情報
《 警戒レベル4までに必ず避難！ 》									
大雨の数時間～2時間程度前	4	危険な場所から全員避難 ・ 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	大雨特別警報	土砂災害警戒情報	大雨警報 洪水警報	危険	注意	早期注意情報
大雨の数時間～2時間程度前	3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨特別警報	土砂災害警戒情報	大雨警報 洪水警報	警戒	注意	早期注意情報
大雨の半日～数時間前	2	自らの避難行動を確認 防災マップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		大雨特別警報	土砂災害警戒情報	大雨警報 洪水警報	警戒	注意	早期注意情報
大雨の数日～約1日前	1	災害への心構えを高める		大雨特別警報	土砂災害警戒情報	大雨警報 洪水警報	警戒	注意	早期注意情報

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

## (2) 地震・津波による災害

奈半利町の南西部には、太平洋が広がっています。水産物などたくさんのお恵みを、わたしたちと与えてくれる海ですが、人々を苦しめることもあります。



1946年（昭和21年）12月21日、高知県を昭和南海地震がおそいました。日本の南西部一帯は、地震と津波により、大きな被害



昭和南海地震のときの浸水した高知市のようす



現在の高知市のようす



東日本大震災の津波による被害のようす（宮城県）

をうけました。高知県内の市町村でも、多くの建物がこわれ、水につかり、また多くの人の命もうばわれ、広い範囲で被害がでました。

また、2011年（平成23年）3月11日には、東日本大震災が起きました。地震による大津波で、たいへん多くの家や人の命が失われました。津波は、はるか遠い高知県にまでも到達するものでした。

### (3) 土砂災害



ていきあつ たいふう えいきょう  
低気圧や台風の影響で、  
はげしい雨が集中的にふ  
ったり、何日も連続して雨  
がふり続けると、土砂災害が  
起こることがあります。

どしゃさいがい  
土砂災害とは、山やがけ

がくずれて、道路や建物におしよせることです。道路が通れなくなったり、建物がこわれて、人の命がうばわれることもあり、大きな被害が出てしまうこともあります。

どしゃさいがい しんぱい  
土砂災害の心配のあるときは、早めにひなんし、もしひなんが  
できないときは、家の中の、山やがけから遠い部屋で過ごすよう  
にするなど、災害にそなえることが大切です。

また、災害の危険のある斜面が、くずれないように造られた「ようへき」というかべを、見かけたことはないでしょうか。

すす こうじ ほうほう  
進んだ工事の方法など高い  
ぎじゆつ つか 技術を使って、土砂災害から  
人々を守るために、取り組んでくれているのですね。



## (4) 災害にそなえる



奈半利町では、水害・地震・津波・火事などの災害に強い町づくりをめざして、奈半利町地域防災計画を立てています。

災害が発生しそうなとき、また発生したときは、防災計画にしたがって災害対策本部において、人の命や財産を守るために行動しています。

災害対策本部は、町長を本部長

として、役場の職員や消防団員がいっしょになって、災害をふせいだり、災害から人々や町を守るためにあるしくみです。

奈半利町は、水害や地震・津波などの災害にそなえて、対策を立てていますが、町には災害ひなん場所やひなんビル・ひなんタワーが



あります。もし自然災害がおきたら、まずは自分の身を守り、まわりのようすが落ちついたら、近くの高台やひなん場所、ひなんしせつに集まりましょう。

防災行政無線システムも組ま

れているので、どんな災害が起きているかなど、くわしい情報をよく聞いて、できるだけ早くひなんしましょう。

また災害にあったときは、近所の人どうしで安全を確認し合い、助け合うことも大切です。ふだんから近所の方には、あいさつをしたり、声をかけ合ったりするようにしましょう。

地震が起きると、家がかたむいたり、つぶれたり、また火事になることもあります。さらに、海に面している奈半利町は、津波に対する心がまえも大切です。

津波はふつうの波とはちがって、海面がもり上がり、陸におし

よせてきます。津波におそわれると、たいへん大きな被害が出てしまいます。地震のゆれがおさまったら、いち早くひなんしましょう。



町では、災害が起きたときのために、ハザードマップを作っています。住んでいる地域の浸水する場所や、家の近くのひなん場所などを、確かめておきましょう。

南海トラフ地震を想定した防災訓練と、様々なイベントで防災を楽しく学ぼう!!  
**5月28日 防災フェスタ in 奈半利 2023**  
 地域防災フェスティバル 10:00~15:00  
 会場周辺地図  
 総合防災訓練 11:30~13:00  
 無料シャトルバス運行表

(高知県)

日ごろから、家族で防災について学んだり、非常用持ち出し袋を準備したりして、災害にそなえておくことが大切です。

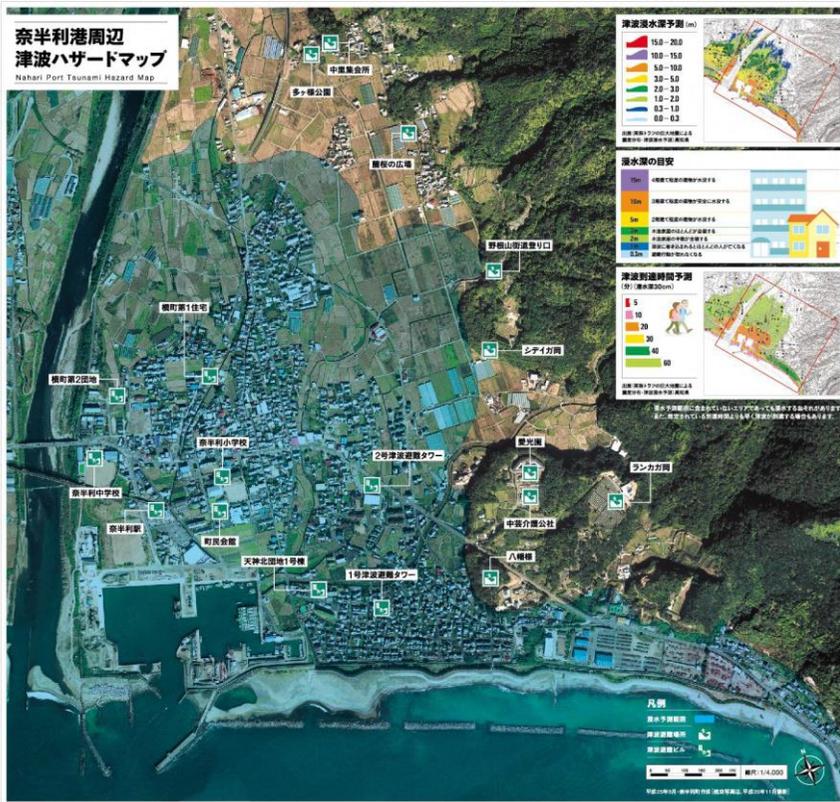
被害が大きいときは、ひなんが長引くこともあります。ひなんするときに持ち出すものを、うちの人といっしょに確かめておくことも大切です。

非常持ち出し品リスト (奈半利町)

## 非常持ち出し品リスト

<b>食料品など</b> <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 	<b>衣類など</b> <input type="checkbox"/> 下着・上着 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯みがきセット <input type="checkbox"/> マスク 	<b>貴重品</b> <input type="checkbox"/> 預貯金通帳など <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 現金 	<b>日用品・安全対策・その他</b> <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 食品用ラップ <input type="checkbox"/> 生理用品 
<b>子供がいる家庭</b> <input type="checkbox"/> ミルク(キューブタイプ) <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー <input type="checkbox"/> 子供用紙おむつ <input type="checkbox"/> お尻ふき <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 <input type="checkbox"/> ネックライト <input type="checkbox"/> 抱っこひも <input type="checkbox"/> 子供の靴 		<b>高齢者がいる家庭</b> <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 枕 <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤 <input type="checkbox"/> 男性用給水パッド <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー 	

津波ハザードマップ (奈半利町)



**津波ハザードマップ**

**津波から身を守る(1)の心構え**

- 1 すぐやろう。住宅耐震化と家具の転倒防止。
- 2 あっ、揺れた。大慌てはまずやろう。
- 3 正片注意。お盆を握れば家具倒壊。
- 4 揺れたら逃げる。全力で。
- 5 何かする。その揺れが余取り。
- 6 津波想定にとられるな。
- 7 津先避難みんなを救う。
- 8 降りし、しっくく退く水津波。
- 9 逃げよう。地域で決めた避難場所。
- 10 津波の避難場所。

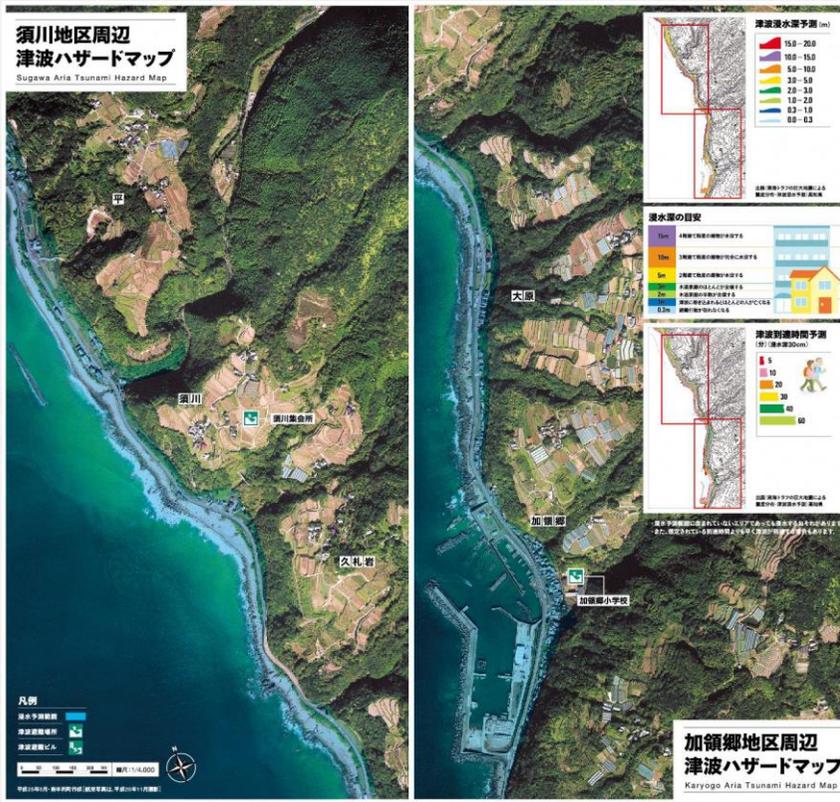
**あなたの地域は、どれだけゆれるの？**

奈半利町の沿岸部では、震度7のゆれが予測されています。  
(※あく、ここでゆれることになるゆれをいいます。)  
津波の被害は、津波の揺れと津波の高さによって決まります。  
津波の高さは、津波の揺れと津波の速さによって決まります。

**震度はどんなゆれ？**

- 震度の強さ・津波の高さは、揺れのとられるものが多い。
- 震度の強さ・津波の高さは、揺れのとられるものが多い。
- 震度の強さ・津波の高さは、揺れのとられるものが多い。

このマップに関するお問い合わせは **奈半利町役場 総務課**  
電話 0887-38-4011 FAX 0887-38-7788



**津波ハザードマップ**

**避難改善のすすめ**

みなさんに取り組んで欲しいこと  
津波の被害は、津波の揺れと津波の高さによって決まります。  
津波の高さは、津波の揺れと津波の速さによって決まります。

**水害住宅耐震診断**

津波の揺れ、津波の高さ、津波の速さによって決まります。  
津波の揺れ、津波の高さ、津波の速さによって決まります。

**水害住宅耐震診断**

津波の揺れ、津波の高さ、津波の速さによって決まります。  
津波の揺れ、津波の高さ、津波の速さによって決まります。

**地震に備えて日ごろからできること**

**家具の転倒防止**

家具の転倒防止は、家具の転倒防止です。  
家具の転倒防止は、家具の転倒防止です。

**プロテクションの転倒防止**

プロテクションの転倒防止は、プロテクションの転倒防止です。  
プロテクションの転倒防止は、プロテクションの転倒防止です。

**非常持出品の用意**

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 下着、寝具
- 食料
- 現金
- 薬
- 携帯トイレ
- 携帯充電器
- 携帯電源
- 携帯電源

**地震が起きた時は**

**避難の時の注意点**

- 避難の時は、みんなの力を合わせる。
- 避難の時は、みんなの力を合わせる。
- 避難の時は、みんなの力を合わせる。

**避難の時は、こんな順番で避難しましょう**

- ヘルメットを被らない。
- ヘルメットを被らない。
- ヘルメットを被らない。

**災害時避難サービスを活用しましょう**

災害時避難サービスは、災害時避難サービスです。  
災害時避難サービスは、災害時避難サービスです。

# 津波から身を守る7つの心得

## 1. 地震のゆれを感じたら、津波に注意

小さなゆれでも津波が発生することがあります。地震が発生したら、津波も起こるおそれがあることを忘れないでください。

## 2. テレビ・ラジオや町の広報で、正しい情報を入手

出所の分からないうわさやデマ、迷信に振り回されず、正しい情報を手に入れるように心がけましょう。

## 3. ひなん情報が出たら、すぐにひなんを開始

町の防災無線や自治会からの呼びかけなど、ひなん指示が出たら、すぐにひなんしましょう。できるだけ早く自主ひなんすることが望ましいです。

## 4. ひなんは、原そく徒歩で

ひなんは、原そく徒歩でしましょう。また緊急車両の通行をさまたげないように、できるだけ早くひなんしましょう。

## 5. 海辺や川には近づかない

地震によって、堤防や水門がこわれることがあります。海や川の様子を見に行ったり、川沿いにひなんするのはやめましょう。

## 6. お年寄りや、体の不自由な方のひなんに協力を

ひなんするときは、周囲の方に声をかけてひなんしましょう。特にお年寄りや体の不自由な方には、地域のみなさんと助け合ってひなんしましょう。

## 7. 水が引いても、自分の判断で戻らない

津波は何度でもやってきます。津波警報や津波注意報が解除されるまで、高台のひなん場所など、安全なところに留まりましょう。